

令和元年度 第5回 東区自治協議会 会議概要

開催日時	令和元年8月29日(木) 午後2時から午後3時
会場	東区プラザ ホール
出席者	<p>【委員】</p> <p>國兼委員、作左部委員、和田委員、関根委員、野村(修)委員、長谷川委員、吉田委員、佐藤(清)委員、近藤委員、菊谷委員、月岡委員、野村(綏)委員、安藤委員、白井(雅)委員、太田委員、川上委員、木村委員、後藤委員、斎藤委員、佐藤(恵)委員、田中委員、貝津委員、大江委員、高橋委員、中川委員、山田委員、眞柄委員、土田委員、雪井委員 計29名</p> <p>〔欠席：白井(俊)委員〕</p> <p>【事務局】</p> <p>(東区)堀内区長、櫻井副区長(総務課長)、江戸地域課長、古寺区民生活課長、山田健康福祉課長、萩野保護課長、伊藤建設課長、鷺尾中地区公民館長、青木石山出張所長、井島東消防署長、辰口石山図書館長、高橋地域課長補佐、阿部教育支援センター所長、地域課職員</p>
1. 開会	<p>(区長)</p> <p>本日は大変お忙しい中、そして足元の悪い中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>先週から今週にかけて、少し暑さが収まって過ごしやすい日も出てきたと思っております。昨年もちょうど今頃、西日本豪雨が起こりましたが、その時期と重なるように、九州北部では記録的大雨による甚大な被害が出ております。今後引き続き、北陸地方そして日本海側に注意が必要だと思っております。</p> <p>今月上旬に新潟まつりが行われ、お盆の帰省とも重なって多くの人出がありました。9日の大民謡流しでは、子どもたちも含め、区の皆様からも大変多く参加いただきました。職員とともに東区として大いに盛り上げていただきました。ありがとうございます。</p> <p>また、今月17日には寺山公園夏まつりとして「い〜てらす」での催しや、夕方からは公園内で盆踊りなどを行いました。実行委員会の皆様を中心にご尽力をいただき、盛り上げていただきました。初めての試みですが、子どもたちや家族連れが多く訪れる施設です。昨年度の利用者18万人ということで繰り返し申し上げております。今後もさまざまな工夫や試みをしながら皆様から楽しく過ごしていただけるようにしていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>市では、来年度予算について動き始めております。区でも、今日も皆様からいただいた区づくりの提案についてご報告をいただくところですが、区づくり事業についても検討を進めてまいります。現在の事業を振り返り、検証を行い、次年度以降新たな組み立ても含めて効果的な事業となるよう努めていきたいと考えております。</p> <p>それでは、令和元年度第5回東区自治協議会を開催いたします。</p> <p>(事務局)</p> <p>引き続き、議事に入ります前に事務局から報告と確認をさせていただきます。</p>

本日は、白井俊和委員から欠席のご連絡をいただいておりますが、出席者数が新潟市区自治協議会条例の規定に達しておりますので、本会議は成立しております。

また、本日は豊島市議会議員、佐藤誠市議会議員、飯塚市議会議員が傍聴に見えられておりますので、ご報告いたします。

また、報道関係者から取材の申し出がありますが許可してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

では、そのようにさせていただきます。

ここで資料の確認をさせていただきます。本日の資料は次第、資料 1-1 から資料 3 となります。そのうち本日お配りした資料は、次第、資料 3「区バスの運賃改定について」、参考資料「令和元年度『新潟市区自治協議会委員研修会』の記録」、「東区の歴史をめぐる大人の社会科まち歩き」のチラシ、以上となります。資料に不足がございましたらお知らせください。

それでは、後藤会長より議事進行をお願いいたします。

(後藤会長)

皆さん、こんにちは。斎藤委員が今年度初めての出席となりますので、ひとことご挨拶をお願いします。

(斎藤委員)

県立大学の地域連携センターで、今年度よりセンター長という形での仕事をさせていただいております。大学の授業が過密で、また火曜日や木曜日に会議が多く、自治協議会の会議を欠席させていただいておりました。申し訳なく思っております。

8月と9月に関しては授業がなく、スケジュールが合ったので出席できることになりました。県立大学は自治協議会に出ていない、と言われると心苦しいのですが、スケジュールさえ合えばできる限り県立大学も、地域とともに、東区それから新潟市全体の一員として協力は惜しまないつもりでおりますので、よろしくをお願いいたします。

(後藤会長)

ありがとうございました。

議事を進行したいと思えます。はじめに、2「自治協議会関連事項」の(1)各部会報告です。市民協働部門の第1部会から報告をお願いいたします。

2. 自治協議会関連事項

(1) 各部会報告

(長谷川委員)

第5回の会議は、8月9日に開催しました。

まず、7月11日に東区自治協議会委員研修会として行った、新潟県立大学生とのワークショップについての振り返りを行いました。その中で、いろいろ感想も出ましたので、それを踏まえて、10月に開催されます同大学の連花祭への出展内容等について、来月検討することとしました。第1部会は「発災時、地域住民の一員としてどのような行動をとるべきか」をテーマに、4グループに分かれて行いました。昨年度と同じテーマだったのですが、今年度は学生から、学校の授業の一環として、地域の方の話を聞き、

東区を知る機会を作ることや、地域と大学が発災訓練を授業の一環で行う等の改善に向けた前向きな発言がありました。また、委員からは、大学で防災のセミナーがあるといいいのではないかという意見がありました。災害に関するさまざまな情報に対して、学生からは「分からない」という感想が多かったのですが、それは学生が地域活動に参加していないからではないかという意見もありました。避難所や開設条件等が分からないという学生の発言がありましたが、これらについては、ごみの集積場に地域の避難場所を掲示して周知してはどうかという意見がありました。災害に対する日頃からの関心や危機感が乏しいということで、意識づけが大事であり、学生の気づきの場があるといいなと思ったところです。例えば、ワークショップに参加した学生に対して、コミュニティ協議会や自治会の避難訓練への声かけをすれば関心も高まるのではないかということで、我々の働きかけがよくないのではないかという反省の意見も出ておりました。避難所やハザードマップ、海拔等に対して知識や関心がなく、大きな地震の経験もない学生が多かったようです。直前に山形県沖の地震があったので、関心を持っていい時期だったのですが、あまり関心を持っていないのが実態です。大学で避難訓練や防災訓練が行われることが望ましいのではないかと我々は感じたところです。

また、学生は受け身であると思いました。国際地域学部の学生が主体となって勉強の成果を発表し、それを自治協議会委員が受けるという形での交流が望ましいのではないかという意見も出ておりました。

次に、今年度の提案事業「発災時の地域防災体制支援事業」については、前回の部会で中越防災安全推進機構からの説明を受け協議し、決定した実施方法やワークショップの内容について確認いたしました。事業の実施に向けては、開催日や自治会・町内会への周知方法等について検討し、決定しました。8月20日に開催される東区内地域コミュニティ協議会連絡会で本事業の概要を説明し、各コミュニティ協議会に周知や参加申し込みの取りまとめを依頼することとしました。事業の概要は、12月9日の午後1回、12月10日の午前と午後で計3回、東区内をコミュニティ協議会単位で3つの地域に分けて開催することを確認しております。会場は東区プラザホールです。内容については、震度6の地震の発生を想定し、住民の安全確保に必要な自治会・町内会の初動対応を考えるワークショップとし、所要時間は2時間半を考えております。対象としましては、東区内全ての自治会・町内会です。

ただ今申し上げましたように、8月20日のコミュニティ協議会連絡会で、自治会・町内会宛ての案内文書の配布と、参加者の取りまとめを各コミュニティ協議会の会長にお願いしました。本日、コミュニティ協議会選出の委員の方には、自治協議会の資料と一緒にこの書類を配布しておりますので、荷物になって申し訳ありませんが、コミュニティ協議会の会長にお渡しくださいますようお願いいたします。なお、取りまとめは10月16日のコミュニティ協議会連絡会で、各会長より事務局へお持ちいただくということになっております。皆さまからも、できるだけ多くの参加がありますように、働きかけをお願いしたいと思います。

もう一つの議題の「東区における課題について」は、今後の自治協議会提案事業の方向性、部会における検討やスケジュールについて、事務局より説明がありました。これについては次回の部会で検討することといたしました。

次回の会議は 9 月 13 日（金）午前 10 時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はありますでしょうか。第 2 部会、第 3 部会の方で、何かご意見やご質問のある方はいらっしゃいませんか。

自治協議会提案事業である「発災時の地域防災体制支援事業」の開催日時が決まり、コミュニティ協議会を通じて自治会・町内会へ案内を出すということですので、自治協議会委員の皆様からも事業の周知についてご協力いただけたらと思います。

次に、福祉・教育・文化部門の第 2 部会から報告をお願いいたします。

（田中委員）

第 5 回の会議は、8 月 5 日に開催いたしました。

まず「東区めぐり子どもバスツアー」についてですが、事務局より申し込み状況や抽選結果等の報告があった後、当日のスケジュールや役割分担等の確認をしました。78 名の応募があり、そのうち当選者は 40 名でした。20 日（火）にツアーを開催しました。前日までに 3 名のキャンセルがあり、37 名の参加がありました。第 2 部会の委員と地域課職員 2 名、そして第 1 部会の月岡委員、第 3 部会の土田委員、貝津委員よりお手伝いをいただいて行いました。

最初は区役所に集合し、その後出発したバスの中では、佐藤副会長によるじゃんけんや東区クイズで非常に和みました。バスの移動中は安藤副会長がバスガイドをし、委員の皆さんには班長をしていただきました。子どもたちも静かにするところは静かにし、「何か質問はありますか」と言うとバツと手が挙がり、非常に優秀だったと思っております。当日は小雨まじりだったのですが、気温も低くていい一日に当たったと思っております。私もとても楽しく参加しました。アンケートを取っておりますので、そのアンケート結果が楽しみです。

次に、新潟県立大学生とのワークショップの振り返りを行いました。第 2 部会は、「地域の中でボランティアとして一歩を踏み出すためには何が必要か」をテーマに、ボランティアについて広く学生さんたちと意見交換をさせていただきました。発信者と受信者のずれといいますか、発信者は十分だと思っても、学生さんたちにはその内容がなかなか見えてこないという現状が分かったり、ボランティアをするのだったら、それ相應の対価が必要なのではないか等の意見が出ました。

3 つ目の「東区における課題について」は、次年度の自治協議会提案事業の方向性や、部会におけるスケジュール、課題の抽出等を行いました。それぞれの出身母体に関わる課題であったり、個人的に思っている課題をいろいろと話し合っているところで、まだ具体的に何を提案事業として行っていくのかということまでは至ってはおりません。次回開催の 9 月 5 日の部会においても詰めていきたいと思っております。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はありますでしょうか。

20 日に実施された「東区めぐり子どもバスツアー」ですけれども、今年も子どもた

ちが大勢参加して、大変好評だったとのこと。今年はほかの部会からもご協力いただき、月岡委員、貝津委員、土田委員の3名の方が参加してくださいました。ご感想をいただけたらと思いますが、代表して土田委員、お願いできますでしょうか。

(土田委員)

今回、声をかけていただきましたので、喜んでお手伝いさせていただきました。その理由ですが、私の知らない施設もありましたし、何よりもそこに行けるということと、子どもたちとふれあうことがとても好きですので、それを楽しみにして参加いたしました。子どもたちも初対面の子が多かったので、最初はぎこちなかったのですが、時間が経つにつれて話が弾んで楽しく一日を過ごしてきました。まだ知らない施設がたくさんあると思いますので、今後も、こういう機会があったらまた参加させていただきたいと思います。

(後藤会長)

ありがとうございました。未来を担う子どもたちに東区の魅力を知ってもらえる機会となり、また夏休みの楽しい思い出となったものと思います。引率された委員の方々は、大変お疲れさまでした。

続きまして、産業・環境部門の第3部会から報告をお願いいたします。

(國兼委員)

第5回の会議を8月8日に開催しました。

はじめに、東区における課題について、自治協提案事業の方向性や、部会における検討やスケジュールについて事務局から説明があり、その後第3部会として取り組んでいく区の地域課題について意見交換をしました。次回の部会で、これまで出てきた課題を絞り込んだ中で協議をすることになりました。意見交換で出た主な課題として、空港近くに宿泊所がない等、空港を活用しきれていないのではないかという意見がありました。

また、山の下埠頭に廃棄物が置いてあり、港の景観を損なっている、海辺の整備をして活用してはどうか等の意見が出ました。産業観光の活性化としては、工場夜景バスツアーを定期的実施してはどうかという意見も出ました。交通弱者の足としての公共交通は、第3部会として協議してきた課題ですが、区バスなどの小回りのきく交通機関があるとよい、車椅子などに対応したバスがあるといいというような意見が出ました。これらの意見を踏まえた中で、次の部会で協議したいと思います。その他に、東区は、市の中心部に目が向いている人が多い印象があるため、区の特徴を伸ばしてはどうかという意見、山の下と桃山の間にあるJRが今は休線していますが、その土地の活用を考えてはどうかという意見、地域の特性を活かして若い世代の出会いの場を創出してはどうかという意見、地域が抱えている課題をアンケートで聞き取ってみてはどうかという意見、若者の住みやすいまちを考えなくてはいけないのではないかという意見も出ました。

次の令和元年度区自治協議会提案事業について、第3部会は、東区の農産物の魅力発信事業として、いろいろなことをやらせていただいている訳ですが、その中で東区の農

産物の魅力発信のために、これから何を実施するかを検討しました。

東区の公共交通の研究については、8月6日に開催された東区地域公共交通に関する意見交換会で出された意見等について、選出委員より報告がありました。

最後に、7月11日に東区自治協議会委員研修会として行った、新潟県立大学生とのワークショップについての振り返りを行いました。第3部会は、「あなたが勤めたい会社はどんなところ？どういうものがあれば新潟に残りたいか」というテーマで行いました。いろいろな意見が出ましたが、やはり若い学生さんですから、残業がなくて給料が高くて福利厚生が充実している会社が良い、などの意見があり、こういう意見は当たり前なのかなと思ったところです。また、学生さんは現実がまだ分かっていないのだなという感じを受けました。新潟の企業は、地域性もあると思いますが、どんどん大きくなっていく会社よりも、地域の中で地盤を安定させていく会社が多いような気がします。

また、学生は安定を求めて首都圏に出ていくことが多いと感じましたし、新潟にも優良な企業がたくさんありますので、学生には自ら調べる努力もして欲しいということを感じました。自分が調べようとしないのには、本当に何でも与えられている環境があるのかなと、時代の流れを感じたところが今回のワークショップの感想でした。

次回は9月12日（木）午前10時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はありますでしょうか。第1部会・第2部会の方はいかがでしょうか。

第3部会は、地域課題に関する協議が進んでいるようです。引き続きよろしく願いいたします。

3. 報告事項

次に、報告事項（1）令和2年度特色ある区づくり予算（区役所企画事業）の委員提案についてです。櫻井副区長より説明をお願いいたします。

（1）令和2年度特色ある区づくり予算（区役所企画事業）の委員提案について

（櫻井副区長）

令和2年度の「特色ある区づくり予算」の関係につきまして、ご説明させていただきます。

7月の本会議におきまして、事業内容についてご説明させていただき、それに対しまして皆様からご意見をいただくということをお願いした次第でございます。前回の本会議におきまして、特色ある区づくり予算のうち、区役所が企画実施いたします「区役所企画事業」につきまして、委員の皆様から事業のアイデアやご意見、ご提案を頂戴いたしました。

そうしましたところ、資料2のとおり、5件の提案を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。いただきましたご提案につきましては、今後、区役所の担当課や関連するセクションなどにおきまして、素案づくりの資料として活用させていただきます。

なお、区役所企画事業の成案化に向けた今後の日程といたしましては、各課における企画・立案作業を経たあと、事業の素案となります事務局案を作成いたしまして、10月開催の各部会においてご検討いただきたいと思いますと考えております。その後、10月31日

の東区自治協議会の本会議でご審議いただき、ご承認いただければ事業案の成案化という運びになる次第です。

(後藤会長)

ただいま、令和2年度の特色ある区づくり予算、区役所企画事業への提案について説明がありました。

今年は5人の委員の方から提案をいただいております。お一人ずつ提案された想いを話しいただきたいと思います。長谷川委員から順番にお願いできますでしょうか。

(長谷川委員)

私が提案させていただいたのは、「じゅんさい池自然環境保全事業」ですが、これは去年、今年と第1部会で行ってきたものです。ただこれは、自然が相手のことで、継続して行う必要があるため、ここで提案させていただきました。

内容としては、繁茂しすぎた外来植物の睡蓮の除去を行い水質の改善を図ることです。また、ミシシippアカミミガメ等の外来種がいますので、これらの駆除を行う。それから、子どもたちに身近な自然環境を提供して、小学校の環境学習の場とする。新潟市に存在する砂丘湖は、このじゅんさい池と北山池と言われております。じゅんさい池は現在、地下水の確実な湧き水は、確認されておりません。湧き水が出ているのではないかという意見もありましたけれども、はっきりとは確認できなかったので、地下水位や流量、地質等の調査が今後も必要であろうと考えています。

目的・趣旨については、園芸睡蓮がかなり残っていて繁殖力が強く、あっという間に広がるので、これらを刈り取って公園の名前の由来であるじゅんさいの復活を目指すということです。今年も園芸睡蓮を取っている途中で、一緒にじゅんさいが採れたりしましたが、昨年度と比べると、じゅんさいの面積は増えてきているなと思ったところです。外来種であるカメの駆除を行って、生物多様性の確保を目指す。そして立派な公園ですので、誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場の創設を図り、まちづくりの一環とする。環境保全を行うことにより、市街地に残された貴重な自然公園としてのじゅんさい池を市民等の交流の場とすることで、地域のつながり、ふれあいを通じて顔の見える東区のまちづくりに貢献するということが目的です。

(田中委員)

「中学生とのふれあい体験事業」ということで提案させていただきます。これは山田委員との共同提案です。毎年、海の日に「東区区民ふれあい祭」が開催されていまして、その中で、中学生とのふれあい体験コーナーというものを現在やっているのですが、来年の開催がまだ流動的であることを考えて、この提案をさせていただきました。

目的・趣旨については、単に中学校文化部の成果発表の場にするのではなく、世代間交流が同時に行える状況を作り、その活動が地域貢献活動につながることを重要だと考えております。生徒たちには、目標設定と達成感、自己肯定感の向上につながる成長の場となりますし、小さな子どもたちは、中学校のお姉さんやお兄さんとふれあうことで自分が成長していくいいイメージを抱くことができる。親世代やおじいちゃん、おばあ

ちゃん世代も一緒に楽しく過ごせることで健康長寿が期待されます。中学校の文化部は発表の場が少ないということで、非常に喜ばれているところです。中学生自身もその日、最初は照れながら始まるのですが、終わる頃には成長しています。小さい子どもたちもたくさん参加しているのですが、中学生のお兄さん、お姉さんに優しくしてもらったと思うことは、自分が成長していく上で、小学生、中学生になっていくいいイメージをおそらく抱くことができると思いますし、その子どもたちの交流している姿を見て、親世代であったり、おじいちゃん、おばあちゃん世代も本当に楽しく笑う。笑うことは健康長寿につながりますので、そういった意味で素晴らしい世代間交流ができると同時に地域貢献活動にもつながる、非常にいい場であると考えております。

内容については、寺山公園で今年行われた「寺山こい来いフェスタ」との相性が非常にいいのではないかなと思います。寺山公園は集客力もありますし、来場される方の年齢層の幅広さというものもあるかなと思っております。今年行われた「寺山こい来いフェスタ」のようなものが来年度もあるようであれば、その中の一日に中学生とのふれあい体験コーナーを入れていただければよろしいかなと思っております。そして、括弧にありますように、今年は木戸中学校の生徒会が主導となって一日イベントをされたかと思うのですが、そういったものと一緒にできれば、より効果が得られるのではないかなと思っております。ふれあい祭では東区の中学校すべてに参加を打診しております。そして自らが出たいと言ったところに出ていただいて、そして無料体験コーナーを設営・運営していただいております。施設のどうしてもテント等、必要なものが発生しますので、そういったものは業者に委託ということを考えております。そして、東区内中学校への連絡調整等は自治協議会の第 2 部会がすることが適当ではないかと考えております。今年の実績で中学生は 200 名ほど来ております。そして来場者も 2,000 人ほど見込めるのではないかなと思っております。

(菊谷委員)

私は第 3 部会の委員となりまして、工場見学を体験させていただく機会をいただきました。噂には聞いておりましたが、実際に工場を見学させていただいて大変感銘を受けました。世界に誇るような高い技術が、この東区にあるということを知ってこの目で見て感じて感動いたしましたので、できればこの感動を区民、市民の皆様にもっと感じていただいて、東区の良さを周知していきたいということで提案させていただきました。

内容ですが、工場に関するパンフレットはよく見かけますが、なかなか人目につかないということがあります。昨年度第 3 部会で作成した工場夜景カレンダーがありますので、その中の何点かを工場夜景の大型写真パネルにして区のアちこちに掲示をして人目をひいたらどうかと思っています。空港や山の下埠頭、JRの駅や東区役所等に大きめに掲示すると人目をひくのではないかなと考えました。

それと同時に、今まで行われていることではあるのですが、夜景ツアーを年間 12 回とは言いませんが、もう少し定期的にツアーを実施して、皆さんに工場の素晴らしさを体験していただければと思います。内容的には、午後出発して 1 回につき 1 個の工場を見学していただいて、東区内の可能なお店で夕食をとって夜景を觀賞して終わる、

ということになるかと思えます。募集は、年間予約とし、欠員が出た場合はその都度、補充するということで、人数もあまり多いと大変ですので20名くらいかと考えています。参加料もあまり高くなく、夕食代の実費くらいの感じで提案させていただきました。

(雪井委員)

今年から自治協議会の一員とならせていただいたのですが、常々商店街の活性化を気にしておりました。今回、東区内の商店街の空き店舗などを拠点にして、イベントやコミュニティを展開し、それをフリーペーパーやウェブで情報発信して、学生や若者たちを巻き込んだ企画にしたいと思っております。

現在、歴史浪漫プロジェクトが展開されていますけれども、それと連携させたような形ですと、さらに盛り上がり期待できるのではないかなと思っておりますが、最初の段階では、まずは長野県塩尻市の大門商店街や、中小企業庁の「がんばる商店街77選」の中で、成功事例として挙げられている愛知県瀬戸市の銀座通り商店街を視察させていただいて、視察をした初年度に企画や計画を立案した上で、次年度から実行していくという計画でできるかと思っております。長野県に関しては、若者たちのコミュニティが空き家を使って拠点にし、イベントや媒体で情報発信をしているところで盛り上がっていますし、愛知県瀬戸市では、マスコミに取り上げられるような話題づくりをして、これは学生と連携した形で、行動心理学で言うとバンドワゴン効果と言って、みんながやっているからやる、というような巻き込み方をされているということです。

目的、期待できることとしては、魅力ある商店街により東区のにぎわい創出ができるのではないかと考えています。また、車での移動が難しいシニアの方や小さいお子さんをお持ちの親子、あとは地元のヤングファミリー、30代、40代のご家族、学生さんも参加できるような、皆さんで楽しめるまちづくりができるのではないかと思います。提案させていただきました。

(野村(修)委員)

私が提案したのは皆さんがご説明なさったような東区に特有なもの、一番のもの、誇れるもの、或いは東区にしかないものではありません。東区にしかないものと言えば空港がありますし、東区で一番のもの、全市の中で一番と言えば、例えば工業が一番盛んであるというようなものがありますし、それから寺山公園は、規模や新しい造りということで、やはり誇るに足るものであろうと思えます。そういうものに立脚した活用策や振興策ということでの提案ができれば一番東区らしい、8つあるそれぞれの区らしいということになるのだらうと思えますが、私の提案はそういうものではありません。東区という区単位を超えて全市的な課題というものになると思えます。東区にふさわしいということからすると、それに適していない、或いは色合いが違っているかも知れないということは最初から承知しておりますので、前置きとしてご了承、ご承知おきいただきたいと思えます。

新潟市には、広域的な一本筋の通った通りで、笹出線や、その南に紫鳥線という通りの名前がありますが、笹出線は笹口と出来島、紫鳥線は紫竹と鳥屋野のように、長距離の起点と終点を結んだ、何々線というものを新潟市は通称名で好む傾向があるようで、

まずこれを念頭に置いたわけです。

東区内では赤道という通称の道路がありますし、それから松浜橋に至る通りは飛行場通りという通称がありますが、松浜橋であるとか泰平橋に向かっては、区間ごとを区切って言う通称となっています。先ほど申し上げました笹出線とか紫鳥線という大きな区間に名前をつけるといいのではないかと考えた次第です。

また、中山跨線橋ができて、道路が木戸小学校辺りまで整備されて、笹木戸線という名前が表示されるようになりました。

新潟流の起点と終点を結んだ頭文字を取って何々線でもよろしいですし、東京ですと、もっと大きく靖国通りや新宿通り、皇居の近くでは内堀通り、外堀通りというものがあります。靖国通りは東京の地図で調べたら新宿駅の近くから両国駅の近くまで、長い距離で靖国通りという名前がついていました。もちろん途中、靖国神社の前を通りますが、そこは中間地点です。中間地点の著名な名称を掲げて靖国通りと命名をしたということですが、そういう命名でもよろしいですし、そういうものがあってもいいのではないかと思います。

また、東区ではありませんが、新潟駅前から新潟市役所の本庁舎までの、駅前の大通りは東大通と言います。あれは駅庁舎から流作場五差路くらいまでの名前ではないでしょうか。そこから萬代橋の東詰までは、よく知られた名前というのはいないような気がするのです。一方、新潟島の方は、榎谷小路がありますけれども、萬代橋の西詰まで全部なのかどうか。せいぜい鏡橋くらいまでの感じであり、鏡橋から萬代橋西詰までつながっているにもかかわらず、そういう感じが持てません。東大通、榎谷小路という名前は、それはそれで結構なこと、その区間が短すぎるということではありませんが、新潟駅から市役所の本庁舎くらいまで何々線とか何々通りとか、大きい名前がついていると一番いいのではないかと思います。

個別の短い区間について、具体的に榎谷小路ですとか東大通というのが、もっと身近な通りの名前というので、一向に構わないと思いますけれども、駅から市役所まで、さらに場合によっては市役所からもっと西方面まで大きな名前があるといいのではないかとこの発想です。

中央区ですが、信濃川にかかる橋ごとに大きな名前があってもいいのではないのでしょうか。例えば八千代橋は、越後線が立体交差になりまして、紫鳥線と交わるまで一本大きな筋となった訳です。八千代橋の新潟島側は小路で言うと鍛冶小路でしょうか。そのような名前になっていると思いますけれども、東中通に昔、大和生命の風情のある建物が交差点にありましたけれども、あそこから紫鳥線に至るまで一本筋の通った名前があるといいと思った次第です。

なお、私の基本の想いは、日本ではあまり風習としてないのですけれども、個々の住宅地の生活道路についてまで、すべてに名前がついているといいと思っているのです。ドイツとオーストリアでは、生活道路の全てに通りの名前がついています。何々通りの何番と言えば、そこのお宅へ辿り着けるようになっています。それだけではなくて、交差点ごとに、こっち側はベートーベン通り、こっち側はゲーテ通りと、角々にL字型の小さい標識ですが、標識がみんなついているのです。あれは極めて分かりやすいです。

日本の何々町何丁目という言い方は、あれは田んぼや畑に名前や番号をつける命名法であると、どこかで読みました。新潟にも古町通等の実際の例があります。昔の北光社の側も萬松堂の側も両方、古町通 6 番町です。そういう名前のつけ方にして、昔の北光社の前に萬代橋、日銀方向へは榎谷小路、直行しているのは古町通。そういうし字型の標識が事細かに付いているのがいいのではないかとというのが本当の想いです。

(後藤会長)

提案された委員へ何かご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

この提案については、まず区の担当課で事務局案を作成し、関連の部会でそれらを検討したあと、10 月の本会議で審議するということですので、よろしくお願いいたします。

(2) 区バスの運賃改定について

次に、(2) 区バスの運賃改定について、江戸地域課長より説明をお願いいたします。

(江戸地域課長)

資料 3 をご覧ください。区バスの運賃改定についてです。この件につきましては、前回の自治協議会でも、予定としてご説明させていただきましたが、8 月 22 日に新潟市地域公共交通会議で正式に決定されましたので、再度ご報告させていただくものです。運賃が大人 200 円から 210 円に、小学生が 100 円から 110 円に改定されるといった内容です。

周知・広報につきましては、東区だよりなどで周知していきますが、委員各位におかれましても出身母体などでの周知にご協力いただければと思います。

(後藤会長)

ただいまの説明に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

4. その他

次に、4. その他です。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

事務局からお知らせいたします。

本日配付いたしました参考資料の「令和元年度『新潟市自治協議会委員研修会』の記録」をご覧ください。こちらは、市民協働課主催で 7 月 1 日に開催いたしました自治協議会委員研修会の記録をまとめたものになります。パネルディスカッションの内容なども記載されておりますので、後ほどゆっくりご覧ください。

次に、「東区の歴史をめぐる大人の社会科まち歩き」のチラシですが、こちらは東区歴史浪漫プロジェクト実行委員会が実施するまち歩きになります。今年は、石山地区を歩き、東区の歴史を楽しく学びながら、まちの写真を撮影していきます。みんなで撮影した写真を使って、フォトアルバムを作成する事業になりますので、皆様からも周知にご協力いただけたらと思います。

<p>5. 事務連絡</p>	<p>(後藤会長) 最後に、5. 事務連絡です。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>(事務局) 事務局より次回の自治協議会全体会議、各部会の日程についてご連絡いたします。 全体会議は、9月26日(木)午後2時から、東区プラザホールで開催いたします。 第1部会は、9月13日(金)午前10時、会議室A。第2部会は、9月5日(木)午前10時、会議室C。第3部会は、9月12日(木)午前10時、会議室B。広報紙編集部会は、9月10日(火)午後2時から会議室Bにおいて、それぞれ開催いたします。皆様ご出席をどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日の会議終了後、委員の皆様は多目的ルーム2で意見交換会を予定しております。ホールを出て、すぐ右手のお部屋になりますので恐れ入りますがご移動をお願いいたします。</p> <p>(後藤会長) 多目的ルームでの意見交換会、時間は何時にしますか。</p> <p>(事務局) 会議終了後、そのままご移動いただければと思いますので、お願いいたします。</p> <p>(後藤会長) では、そのようをお願いいたします。 これで予定された議題は全部終わりましたが、全体を通して何かございますでしょうか。 以上をもちまして、令和元年度第5回東区自治協議会を閉会いたします。</p>
<p>傍聴者</p>	<p>2名</p>